

## 虫歯の痛み止め 甘草湯など効果

**Q** 五十一歳、女性。長年、慢性関節リウマチで治療を受けていますが、抗生物質などでしばしば薬疹を起こします。数カ月前から右奥歯が痛み出し、歯科を受診したところ「虫歯と歯槽膿漏（しそのうろう）があり、治療が必要」と言われました。ただ「薬アレルギーがあるのでもう少し様子を見ましよう」とのこと。鎮痛剤を処方されましたが、胃の調子がよくありません。虫歯の痛みや歯槽膿漏に効く漢方薬はあるのですか。

**A** 近年、虫歯予防対策が効を奏しつつあるが、漢方の古典にも虫歯治療についての記載がある。口に含んで痛みを止めるのが甘草湯（かんそうとう）。甘草一味を煎（せん）じて飲む。甘草は古来「急迫を治す」とされ、様々な痛みに用い

られた。黄柏（おうばく）の粉末も炎症や痛みに良い。スズメバチの巣を漢方では露蜂房（ろうぼう）というが、粉末にしてすり込んだり、服用したりしても歯痛や歯槽膿漏に優れた効き目がある。しかし現在は良品が手に入らない。

しばらく口に含んでから服用して、たちまち効き目が現れるのが立効散（りつこうさん）だ。古典に「牙（が）歯痛んで忍びがたく：牙齒疼痛（とうつう）を治すのに神なるものなり」とある。このほか桂枝五物湯（けいしごもつとう）、黄连解毒湯（おうれんげどくとう）などが痛みや化膿（かのう）などの症状によって使い分けられる。

漢方薬は虫歯予防や初期治療、アレルギーなどに試みられることが多い。